

## 5年 道徳の年間指導計画例 (2020年休校措置対応)

- 年間35時間に配当された教材のうち、7教材を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」としています。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」として、教科書内で同一内容項目について、2教材以上用意しているもののうち1教材を挙げました。ただし、教科書の構成上、特別の指導意図があるものについては、2教材以上用意している内容項目の教材であっても、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に含めていません。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に該当する教材の欄は、水色  にしています。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」は、赤字で示しています。
- 各学校の状況によって、年度当初に予定していた学習内容の指導を、本年度中に終えることが困難な場合に、学校における学習活動を重点化する際の参考資料としてご活用ください。
- そのうえでなお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、年度内に全ての内容項目を取り上げることを念頭に、次年度に送る等の対応も考えられます。
- 各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。なお、次年度に送る場合には担当教員間の引継ぎにご配慮ください。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 帰ってきた、はやぶさ 〔よりよい未来を創るもの〕 【主】A 真理の探究 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎真理を大切に、ものごとを探求し、よりよい未来を築こうとする。 【理解、判断力】 新しいものを求め、知力をもとにくふうすることは、人々のよりよい未来につながる事が分かる。 【心情】 真理を大切に、新しいものを作り出そうと、研究やくふうを重ねた人の心に共感する。 【実践意欲と態度】 進んで新しいものを求め、真理を大切に未来を創ろうとする意欲をもつ。	1 小惑星探査機「はやぶさ」と國中教授の写真を見て、知っていることを出し合う。 2 「帰ってきた、はやぶさ」を読んで、進んで新しいことを求めることの価値について考える。 3 國中教授の生き方から学んだことをまとめ、話し合う。	○道徳の授業 ・「帰ってきた、はやぶさ」を読んで、よりよい未来に向けて進んで新たなものを求めることや、くふうすることの大切さを学ばせる。 ○学級活動 ・「エジソン」「ライト兄弟」「豊田佐吉」「松下幸之助」「本田宗一郎」や、ノーベル賞をとった人など、新しい時代を切り拓いた人たちの伝記を読んで、生き方から学んだことを発表させる。 ○調べ学習 ・夏休みの課題などで、「はやぶさ」「はやぶさ2」の業績や、新しい時代を切り拓いた人物についてもっと調べたり、自分自身の課題をもって、自由研究に取り組みせたりする。
4月	2. 一枚の写真から 〔広がる心 深まる心〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 個性の伸長	◎生命がかけがえのないものであることを自覚し、自他の生命を尊重して生きようとする。 【理解、判断力】 「生きていこう」とは、体と心が成長していることだと分かる。 【心情】 自分の成長に気づき、喜びを感じる。 【実践意欲と態度】 希望をもって自らの生活を送り、自他の生命を大切にしようとする。	1 「生きていこう」とは、どういうことか考える。 2 「一枚の写真から」を読んで、「生きていこう」として考える。 3 今日の学習から考えたことを伝え合う。	○家庭 ・自分の小さい頃の写真を用意しておく。 ○道徳の授業 ・「一枚の写真から」を読んで、自分の「生きていこう」として考えさせる。 ○学級活動 ・自分の「生きていこう」をさらに探してカードにまとめ、友達と伝え合う機会を設け、家族にも伝えさせる。 ・道徳ノートや日記などに感想を記入させる。 ○日常生活 ・学習から考えたことをもとに実践している姿を認め、励ましていく。 ・学期末に、自分や友達の「生きていこう」を探す活動を行い、まとめて掲示する。
4月	3. ひみつのトレーニング 〔心のひもをしめる〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 個性の伸長	◎生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする。 【理解、判断力】 適度に「心のひもをしめる」ように、ほどよく自分をコントロールすることによって、自分の力が発揮できることが分かる。 【心情】 規則正しい生活をするに、よさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の生活を見直し、適度に心のひもをしめた節度ある生活をしようとする。	1 生活を振り返り、心がけていることを話し合う。 2 「ひみつのトレーニング」を読んで、節度、節制の大切さについて話し合う。 3 自分の生活を振り返り、「心のひもをしめる」ことがないかを考える。	○道徳の授業 ・「ひみつのトレーニング」を読んで、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に努めることの大切さを話し合わせる。 ○学級活動 ・今の自分の生活を振り返り、自身の課題を考えさせる。そして、自分で決めた改善のための方法を実行するよう促す。
5月	4. シンボルマークにこめられたものは 〔マークに込められた願い〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】D 自然愛護	◎市町村などのさまざまなマークに込められた郷土への願いを知り、自分も伝統や文化を受け継ぎ、積極的に地域に関わっていこうという気持ちをもつ。 【理解、判断力】 市章などにはシンボルマークとしての郷土への願いが込められていることが分かる。 【心情】 自分の地域のマークの由来から、地域への先人の願いに共感する。 【実践意欲と態度】 地域の伝統や文化を受け継いで、積極的に地域に関わっていこうという気持ちをもつ。	1 自分の市の市章はどんな意味をもつのか話し合う。 2 「シンボルマークにこめられたものは」を読んで、シンボルマークに込められた願いについて考える。 3 自分たちの地域のシンボルマークに込めたい願いを考え、話し合う。	○道徳の授業 ・「シンボルマークにこめられたものは」を読んで、シンボルマークには、どのような願いが込められているのかを考えさせる。 ○日常生活 ・自分たちの住む地域のシンボルマークやキャラクターについて調べる。 ○図画工作科 ・自分たちの地域への願いを込めてシンボルマークをつくる。
5月	5. 助け合い傘 〔みんなのために〕 【主】B 感謝 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎多くの人に支えられて自分が生きていることが分かり、それに感謝し、応えようとする。 【理解、判断力】 人は周囲の人に支えられて生活していることが分かる。 【心情】 支えてくれている周囲の人の思いに心が動く。 【実践意欲と態度】 人のためになる、自分にもできそうなことを考え、実践への意欲をもつ。	1 自分たちの生活を支えている人について発表する。 2 「助け合い傘」を読んで、支えてくれている周囲の人への感謝について考える。 3 みんなのために活動している人の思いや、自分にできることを考える。	○道徳の授業 ・「助け合い傘」を読んで、支えてくれている周囲の人への感謝について考えさせる。 ○学級活動 ・自分たちの身近で、みんなのために活動している人を調べさせ、発表し合う場を設ける。 ○日常生活 ・自分がみんなのためにできることを考え、実際に活動するよう促す。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
5月	6. 氷上の挑戦 ―浅田真央― 〔あきらめない心〕 【主】A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】B 感謝	◎自分の目標の実現のために自分のもっている力を一杯発揮して、最後まであきらめずに努力しようとする。 【理解、判断力】 できないことを、あきらめずにやり遂げようとする姿勢が、目標の実現のためには必要なことが分かる。 【心情】 目標達成のためにさまざまな人に支えられ、創意くふうする中で努力し続けている姿勢のすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の目標に向かってあきらめずに、努力し続けようとする。	1 あきらめない心をもつために大切なことを話し合う。 2 「氷上の挑戦」を読んで、挑戦を続けることの大切さを考える。 3 あきらめずに自分の夢や目標に向かって挑戦を続けるためにどうしたらよいかを考え、話し合う。	○学級活動 ・浅田真央さんについて調べさせる。 ・「あきらめない気持ち」の大切さについて、考えをまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「氷上の挑戦―浅田真央―」を読んで、挑戦を続けることの大切さについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分を見つめ直し、振り返らせることで、今後の生活につなげさせる。 ○学級活動 ・努力を積み重ねて目標を達成した人の話を調べさせ、紹介し合う場を設定する。 ・あきらめずに挑戦したいと思うことを発表させる。
重点主題：広い心で、おたがいをみとめ合おう				
5月	7. まかせてみようよ 〔仲間を信じて〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎謙虚な心もち、広い心で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする。 【理解、判断力】 自分と異なる考えをよく聞くことで、相手への理解が深まることが分かる。 【心情】 相手の考えや立場を尊重し、互いに高め合える関係にすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 互いに高め合う集団を求めて、謙虚な心で相手を尊重していこうとする。	1 意見や考え方が違う仲間と認め合う方法について考える。 2 「まかせてみようよ」を読んで、相互理解の大切さについて考える。 3 今日の学習から学んだことをまとめる。	○係活動・宿泊学習など ・係活動や宿泊学習の準備の中で、意見が合わないときはどのようにしたらよいか考えながら活動させる。 ○道徳の授業 ・「まかせてみようよ」を読んで、支え合う仲間になるために大切なことは何かを考えさせる。 ○係活動・宿泊学習など ・係活動や宿泊学習など生活の中で、友達と意見や考えが違うとき、相手の思いに目を向けて、よく話を聞いてみることによって、相手の見方がどう変わるか確かめさせる。 ・相手のことを理解し、認めていこうとしているかどうか、自分を見つめさせる。
6月	8. みんなの劇 〔みんなで作る〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】C よりよい学校生活、 集団生活の充実	◎自分の考えや意見を相手に伝え、広い心で自分と異なる考えや立場を認めて、尊重していこうとする。 【理解、判断力】 仲間の悩みを知り、励まし合って関係を深めていくことが、よりよい集団づくりには大切なことが分かる。 【心情】 互いに相手の考えや立場を尊重し、高め合う関係にすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 謙虚な心で相手を尊重し、集団の中で自分の役割を見つけて実践していこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、集団で取り組む活動をよりよくするために、大切なことは何かを考え、ノートに書く。 2 「みんなの劇」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 広い心で認め合うよさについて話し合う。 4 P.41～43の問いかけを読み、「ぼく」が3人で続けた練習に楽しさを感じるようになったわけを考え、ノートに書く。 5 「まとめる」を読み、集団で取り組む活動をよりよくするために、自分が大切にしていきたいことを考え、ノートにまとめる。	○日常生活・係活動など ・係活動や宿泊学習の準備の中で、仲間と意見が合わないときはどのようにしたらよいか考えさせる。 ○道徳の学習 ・「みんなの劇」を読んで、広い心で認め合うよさについて話し合う。 ○特別活動・日常生活 ・学習発表会の練習や日常の学校生活の中で、仲間と高め合ってよりよいクラスや学校をつくるために必要なことを考えさせ、実践するよう促す。
6月	9. いっしょに何をしようかな 〔日本の紹介〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】D 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努めようとする。 【理解、判断力】 日本と同様に、外国にもさまざまなよさがあることが分かる。 【心情】 外国の人々に、日本のよさを知ってもらいたいと感じる。 【実践意欲と態度】 日本人として、世界の人々と仲よく生活していきたいと考える。	1 自分の家に外国の人が来たらどんなことをするかを話し合う。 2 「いっしょに何をしようかな」を読んで、外国の人々との関わり方について話し合う。 3 外国の人と親しく付き合うために大切だと思うことをまとめる。	○読書活動など ・世界や日本について書かれた図書を紹介して貸し出ししたり、読書タイムなどで読ませたりする。 ○外国語科 ・外国の言葉について学習したり、文化について触れたいりさせる。 ○道徳の授業 ・「いっしょに何をしようかな」を読んで、外国の人々との関わり方について考えさせる。 ○家庭 ・世界に誇れる日本の場所やものについて調べさせる。 ○外国語科 ・実際に外国に行ったことのある人や身近にいる外国の人に話をしてもらい、外国の文化に触れさせる。
6月	10. ガンジーのいかり 〔正義をつらぬいた人〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】D よりよく生きる喜び	◎だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平に接し、正義の実現に努めようとする。 【理解、判断力】 差別や偏見をなくすことが、正義の実現のために大切だということが分かる。 【心情】 公正、公平なよりよい社会の実現に向けて、行動した人の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自分には何ができるのかを問いかけながら、だれにでも公正、公平に接し、正義の実現に向けて努力しようとする。	1 人種差別と闘ったガンジーの人柄や経歴を共有する。 2 「ガンジーのいかり」を読んで、偏見や差別をなくすために大切なことについて考える。 3 ガンジーの生き方から学んだことをまとめる。	○調べ学習 ・ガンジーについて調べさせる。 ・新聞などから、差別や偏見に立ち向かっている人の活動を集めさせる。 ○道徳の授業 ・「ガンジーのいかり」を読んで、差別や偏見をなくすために大切なことについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・差別や偏見をなくすために行動している人の活動を調べ、その人が大切にしていることをまとめさせる。
6月	11. 日本の心とかたち ―真・行・草― 〔心とかたち〕 【主】B 礼儀 【関連】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎時と場、相手に応じたかたちの礼儀は、心と一つになることでより美しく感じる事が分かり、日常生活でも心とかたちを一つにして真心をもって人に接しようとする意欲をもつ。 【理解、判断力】 礼儀には、時と場、相手に応じた仕方があり、心とかたちが一つになると美しいことが分かる。 【心情】 真心をもって、礼儀正しく人に接する姿に共感する。 【実践意欲と態度】 日常生活で、心とかたちを一つにして、礼儀正しく真心をもって人に接したいという意欲をもつ。	1 日常生活でどんなあいさつをしているか振り返る。 2 「日本の心とかたち」を読んで、礼儀のよさや大切さを考える。 3 今日の学習を通して、心とかたちのつながりについて考えたことをまとめる。	○道徳の授業 ・「日本の心とかたち―真・行・草―」を読んで、礼儀のよさや大切さについて、話し合わせる。 ○日常生活、朝の会・帰りの会 ・意識してあいさつやおじぎを使い分けてみるよう促し、朝の会や帰りの会で、そのときの自分の気持ちや相手の反応を紹介し合わせる。 ○家庭 ・「真・行・草のおじぎ」や、日本のあいさつ、伝統的な礼儀作法について家族で話し合わせ、日記などに書かせる。
7月	12. 救急車 〔守られるべきこと〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C 勤労、公共の精神	◎自分の権利と同様に、他者の権利を理解し、きまりや法を守ってよりよい生き方をしようとする。 【理解、判断力】 公共物を自分勝手な使い方をする、他者に迷惑がかかることが分かる。 【心情】 自分だけでなく、他者の権利も尊重することによさを感じる。 【実践意欲と態度】 日常生活の中で、きまりや法を守ってよりよい生き方をしようとする。	1 誰もが自分の権利を主張したときに起きることを考える。 2 「救急車」を読んで、互いの権利を守るとはどういうことかを考える。 3 自分の権利と同じように他者の権利を考える必要があるのは、どんなときかを話し合う。	○道徳の授業 ・「救急車」を読んで、互いの権利を尊重し合う大切さについて考えさせる。 ○学級活動 ・身の回りで自分やみんなの権利が守られていることを探して、発表させる。 ○日常生活 ・高学年として、社会生活上のきまりやマナーを守る意義を自覚し、積極的に行動することを促す。



月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
7月	13. 海を耕す人たち 〔自然を守る〕 【主】D 自然愛護 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自然と共存していくために、自分なりの方法で自然環境を大切にしようとする。 【理解、判断力】 科学技術を使って水産資源を増やそうと尽力している人々の存在を知り、自然環境を大切にすることがさまざまな形があることを理解する。 【心情】 自然との共存を図ろうと努力している人たちの思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自然と共存していくために、自分にできる自然環境を大切にしようとする。	1 自然を守ることについて話し合う。 2 「海を耕す人たち」を読んで、自然を守ることについて考える。 3 自然を守ることについて話し合う。 4 自分の考えをまとめる。	○理科 ・「動物の誕生」の学習で、メダカの卵の変化を観察することや、人の発生について調べることを通して、生命の崇高さを感じさせる。 ○社会科 ・「水産業」の学習で、水産業の盛んな地域の事例を調べることを通して、水産業が自然環境と深い関わりをもって営まれていることを考えさせる。 ○道徳の授業 ・「海を耕す人たち」を読んで、自然を大切にすることについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・「自然環境を守ろうとしている人」を調べさせる。 ・クラスや家庭でもできる「自然環境を守る活動」を話し合わせ、実践化を図る。
9月	14. ドッジボールを百倍楽しくする方法 〔勝つよりもすてきなこと〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合って、よりよい友達関係を築いていこうとする。 【理解、判断力】 互いのよいところを認め、相手の考えを取り入れることで、よりよい友達関係が築けることが分かる。 【心情】 友達どうしが互いに認め合い、支え合うことで友情を深めた姿によさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分も周りにいる友達とよりよい関係を築いていこうとする。	1 よい友達とは、どのような友達か考える。 2 「ドッジボールを百倍楽しくする方法」を読んで、よりよい友達関係について考える。 3 今日の学習で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・男女の隔てなく接するよう促す。 ○道徳の授業 ・「ドッジボールを百倍楽しくする方法」を読んで、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う友達関係のよさについて考えさせる。 ○読書活動 ・今まで読んで本や国語の教科書に出てくる物語の中から、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う友達関係を見つけて紹介し合わせる。 ○帰りの会 ・男女が協力し合ってよりよい成果があがったことを紹介させる。
9月	15. 「スイミー作戦」「ガンジー作戦」 〔いじめに負けないために〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公正、公平に接しようとする。 【理解、判断力】 自分が意図していなくても、自分の行為が人によっては、いやな気持ちになることがあることが分かる。 【心情】 人の気持ちを思いやり、だれに対しても公正、公平に接しようとする心に共感する。 【実践意欲と態度】 いじめをなくすにはどうしたらよいかを考えることを通して、差別をしたり偏見をもったりせず友達に接しようとする。	1 自分と友達の違いを話し合う。 2 「『スイミー作戦』『ガンジー作戦』」を読んで、「いじめ」について考える。 3 学習したことをまとめる。	○道徳の授業 ・「『スイミー作戦』『ガンジー作戦』」を読んで、「いじめ」について考えさせる。 ○学級活動 ・「いじめ」のないクラスにするにはどうしたらよいかを話し合わせる。 ○日常生活 ・「スイミー」を読み直したり、ガンジーについて調べたりすることを促す。 ・いじめに関する本を紹介して読ませ、感想を発表し合う。
9月	16. 短所も長所 〔自分らしさを発揮して〕 【主】A 個性の伸長 【関連】B 相互理解、寛容	◎自分の特徴を知り、短所を改め、長所を積極的に伸ばしていこうとする。 【理解、判断力】 ものごとや人にはいろいろな見方があり、観点を変えれば、短所も長所になることが分かる。 【心情】 友達が見つけてくれた自分のよさに気づき、自分の中の長所を伸ばし、短所を改めたいという思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自分らしさを考えることを通して自分の特徴を知り、短所を改め、長所として伸ばしていこうとする。	1 「自分らしさ」とは何かについて話し合う。 2 「短所も長所」を読んで、自分らしさについて、話し合う。 3 自分のよさをどのように伸ばしたいか、まとめる。	○道徳の授業 ・「短所も長所」を読んで、自分の特徴を知り、自分の悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばしていこうという思いをもたせる。 ・「友だちの目」カードや「自分の目」カードを作成し、自分のよさについて考えることを通して「自分らしさ」について考えさせる。 ○家庭 ・「友だちの目」カードの保護者版を持ち帰り、保護者にカードを記入してもらおう。それを「自分の目」カードに追加することで、長所を伸ばしていくにはどのようにしたらよいかを考え、実行させる。 ○帰りの会 ・友達のよいところを認め合う時間を設け、自分の長所に自信をもたせる。
9月	17. セルフジャッジ 〔セルフジャッジ〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎きまりが何のために存在するのかを考えることを通して、その意義を理解し、進んでそれを守り、自分の義務を果たしていこうとする。 【理解、判断力】 きまりの存在意義について主体的に考え、理解を深めている。 【心情】 きまりを守ることの意義について、主人公の考えに共感する。 【実践意欲と態度】 きまりを守るための自分の課題を考え、きまりを守っていこうとする。	1 きまりについての考えを話し合う。 2 「セルフジャッジ」を読んで、きまりを守る大切さについて考える。 3 きまりの存在意義について考える。 4 自分の考えをまとめる。	○体育科 ・ゴール型やネット型、ベースボール型のボール運動の学習において、セルフジャッジで試合に取り組むことを通して、ルールの大切さを感じ取らせる。 ○道徳の授業 ・「セルフジャッジ」を読んで、きまりを守る大切さについて考えさせる。 ○体育科 ・ゴール型やネット型、ベースボール型のボール運動の学習において、自分たちでルールをくふうし、それを守り試合に取り組むことを通して、ルールの大切さを改めて感じ取らせる。 ○学級活動 ・クラスや学校に、なぜルールやきまりがあるのか話し合わせる。
10月	18. 世界の文化遺産 〔日本の文化遺産〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】C 国際理解、国際親善	◎日本や郷土の文化に興味をもち、その文化的価値を考え、わが国の文化を大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 世界文化遺産に登録された日本の文化遺産の特長やよさを理解する。 【心情】 文化遺産の価値や、それを先人が守り育ててきた思いに共感する。 【実践意欲と態度】 日本や郷土の文化に興味をもち、それを大切にしていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、知っている日本にある世界遺産をノートに書く。 2 「世界の文化遺産」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 日本の文化遺産のよさについて考える。 ○P86の問いかけを読み、厳島神社が世界の文化遺産として認められたわけを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、世界遺産から日本や日本人のどのようなよさが分かるかを考え、ノートにまとめる。	○社会科 ・日本の地理や風土の特徴と、それぞれの土地に生きる人々の暮らし方や産業について、理解を深めさせておく。 ○調べ学習 ・日本の世界遺産について調べさせる。 ○道徳の学習 ・「世界の文化遺産」を読んで、日本の文化遺産のよさを考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・日本や郷土の文化について調べさせ、その結果を掲示物などにまとめて発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
10月	19. 家族の紹介 〔家族の紹介〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 相互理解、寛容	◎家族のことをより深く知り、家族のために進んで役に立つことをしようとする。 【理解、判断力】 自分が、家族のことでよく知らないこともあることが分かる。 【心情】 家族のことをよく知っている人のことを、すばらしいと思う。 【実践意欲と態度】 家族について調べ、家族の思いや願いについて考えることで、家族のために何かしたいという意欲をもつ。	1 家族がしてくれていることについて考える。 2 「家族の紹介」を読んで、家族について考える。 3 学習のまとめをし、次の活動につなげる。	○道徳の授業 ・「家族の紹介」を読んで、家族について考えさせる。 ・「家族知ってるつもりビンゴゲーム」のやり方を理解させる。 ○家庭 ・「家族知ってるつもりビンゴゲーム」を家族と行わせる。 ○特別活動 ・家族に、もっと知りたいと思ったことをインタビューし、「家族新聞」にまとめさせる。 ・家族の一員として、自分にはどんなことができるか考えて、実行してみるよう促す。
10月	20. 変えたもの・変えなかったもの —内川聖— 【自分をのばすもの】 【主】A 個性の伸長 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばそうとする。 【理解、判断力】 自分の特徴を知ることが、短所を改め長所を伸ばすことにつながる事が分かる。 【心情】 自分の特徴を知り、長所を伸ばすことで成長した生き方のよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の長所を伸ばし、短所を改め、自分の成長につなげようとする意欲をもつ。	1 教科書の冒頭の主題名を読み、自分の特徴を伸ばすものについて振り返り、ノートに書く。 2 「変えたもの・変えなかったもの」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 自分の長所や短所につながる価値について考える。 ◎P. 93～95の問いかけを読み、内川選手が周りの人のアドバイスを聞き続けられたのはなぜかについて考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、自分を伸ばすために必要なことについて考え、ノートにまとめる。	○道徳の授業・学級活動 ・「16 短所も長所」(P.76～79)で学習したことを思い出したり、「自分の目」カードを見直したりして、自分や友達の良いところや短所を明らかにする。 ○道徳の授業 ・「変えたもの・変えなかったもの」を読んで、内川選手の長所について学習し、自分の改めたい短所や、さらに伸ばしていきたい長所について考えさせる。 ○日常生活 ・道徳の時間に明らかにした短所を改めたり長所を伸ばしたりするための方法を考え、実行するよう促す。 ○読書活動 ・著名人の本を読んで、その人が伸ばした長所や、改めた短所を見つけさせる。
10月	21. 星が光った 〔人間の力をこえたもの〕 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】D 生命の尊さ	◎星空など美しい風景を生み出す大自然の摂理に感動し、人間の力をこえたものに畏敬の念をもつ。 【理解、判断力】 人間の歴史と地球の歴史を比べることを通して、地球の誕生からこれまでの約46億年という時間がどれほど長いものなのかを理解する。 【心情】 人間が美しいと感じる自然を構成するもの全てが、地球が気の遠くなるような長い時間をかけて育んできたものであることのすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 美しい風景や大自然の摂理を生み出す大いなるものに対して、畏敬の念をもって生きようとする。	1 「美しい自然」について話し合う。 2 「星が光った」を読んで、人間の力をこえたものについて考える。 3 人間の力をこえたものについてより深く考える。	○学校行事 ・臨海学校や林間学校など自然の中での合宿を通じて、自然の美しさや自然の中で過ごす心地よさを感じ取らせる。 ○道徳の授業 ・「星が光った」を読んで、人間の力をこえたものについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・インターネットや本などで、人間の力をこえたものを探究活動に取り組ませる。 ・各自が調べてきたことを発表させる。 ○理科 ・台風や川の流れの単元での学習で、本時の学習と関連づけて考えさせる。
11月	22. 約束 〔けんきょな心で〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】B 親切、思いやり	◎相手の立場に立って考えることによって、互いの理解が深まることが分かり、だれに対しても謙虚な心で接していこうとする。 【理解、判断力】 相手が置かれている状況を自分のこととして考えることにより、互いの理解が深まることが分かる。 【心情】 相手の立場に立って考えることの大切さを感じる。 【実践意欲と態度】 相手と互いに理解し合い、だれに対しても謙虚な心で接していこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、携帯電話やスマートフォンでのトラブルが起こらないようにするにはどうすればよいかを考え、ノートに書く。 2 「約束」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 謙虚な心の大切さについて考える。 ◎P. 101・103の問いかけを読み、なぜ陽菜さんがグループワークに書き込みをしてしまったのか、なぜ結衣さんが「もういいよ」といったのかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、相手のことを認めて受け入れ、よりよい関係を作るためにはどのようなことが必要かについて考え、ノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「約束」を読んで、謙虚な心で接することの大切さについて考えさせる。 ○学級活動、体育科 ・P. 104のコラム「スマホと上手につき合うために」や保健「心の健康」などを活用し、スマートフォンなどの情報機器との上手な付き合い方について話し合わせる。 ○家庭 ・携帯電話やスマートフォンを利用した、インターネットの正しい使い方について、家族と話し合わせる。
<b>重点主題：ささえ合う命</b>				
11月	23. 命をかけて命を守る —山岳警備隊— 〔大切な命を守る〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の命がたくさんの人たちに支えられている命であることが分かり、自分の命を大切に周囲の人と支え合って生きようとする。 【理解、判断力】 命をかけてかけがえのない命を守っている人々の思いが分かる。 【心情】 自分の命をかけてまでも遭難者の命を助けようとする人の生き方のすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分や友達の命が、周囲の人たちに支えられた、かけがえのないものであることに気づき、自他の命を大切に生きようとする。	1 命を守る仕事にはどのようなものがあるかを発表する。 2 「命をかけて命を守る」を読んで、命の大切さや、それを守るために働く人の思いを考える。 3 自分たちの周囲にも、命を支えている人たちがいることから、自分たちの命の大切さについて話し合う。 4 学習を振り返って、考えたことを書き、発表する。	○道徳の授業 ・「命をかけて命を守る」を読んで、かけがえのない命を守るために働く人たちの思いや、命の大切さについて考えさせる。 ○学級活動 ・自他の命を大事にしていくためにできることを考えて、友達と伝え合わせる。 ○家庭 ・自他の命を大事にしていくためにできることを家族とも話し合い、実践するよう促す。
11月	24. 生きる力を引き出す笑い 〔自分の生きる力を信じて〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎自分たちに「生きようとする力」があることが分かり、自分も周囲の人と支え合い、高め合って生きようとする。 【理解、判断力】 自分の中に「生きようとする力」があることが分かる。 【心情】 全ての人々が「生きようとする力」をもっていることをすばらしいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分の中の「生きようとする力」を生かし、笑顔で支え合い、高め合って自分たちの命を輝かせていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「元気によりよく生きる」とはどのような生き方かを考え、ノートに書く。 2 「生きる力を引き出す笑い」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 「生きようとする力」について考える。 ◎P. 111～113の問いかけを読み、「笑い」にはどんな力があるのかを考えることを通して、「生きようとする力」がどんな力なのかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、よりよく生きるといえることはどういうことかを考え、ノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「生きる力を引き出す笑い」を読んで、「笑い」の持つ力や「生きようとする力」から、よりよく生きることについて考えさせる。 ○帰りの会 ・帰りの会で、笑顔で支え合ったり高め合ったりすることができた場面を紹介させる。 ○学級活動 ・学期末などに、学期中にみんなで笑顔で支え合ったり高め合ったりできた場面を思い起こさせ、感想を加えてクラスでまとめる活動を行わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
11月	25. 働く幸せ ―チヨーク工場の本田さん― 【働く幸せ】 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】D よりよく生きる喜び	◎働くことの喜びを理解すると共に、人の役に立つ仕事をしようとする。 【理解、判断力】 働くことは自分の生活のためだけでなく、社会生活を支えるものであることが分かる。 【心情】 人のために働くことが、自分の喜びにつながることを感じ取ることができる。 【実践意欲と態度】 自分にできることは何かを考え、社会に奉仕し、公共のために役に立とうとする。	1 働くことの目的について考える。 2 「働く幸せ」を読み、本田さんの仕事に対する思いを通して、働くことのよさについて話し合う。 3 働くよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「働く幸せ」を読んで、働くことのよさについて話し合わせる。 ・家族や地域の方に、普段している仕事で大事にしている思いについてインタビューすることを伝える。 ○朝の会 ・家族や地域の方に、普段している仕事で大事にしている思いについてインタビューし、その内容を発表させる。 ○総合的な学習の時間（キャリア教育） ・朝の会で発表したことなどをもとに、さまざまな仕事について調べ、どんなことを大切にしているのかをまとめ、発表させる。
12月	26. 藤井駅のホームのできごと 【親切を生むもの】 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎人には、困っている人を見ると放っておけない心があることが分かる、だれに対しても思いやりの心をもって接しようとする。 【理解、判断力】 人には、困っている人を見ると放っておけない心があることが分かる。 【心情】 登場人物の、困っている人を見ると放っておけない心に共感する。 【実践意欲と態度】 困っている人を見ると放っておけない心は自分にもあることを自覚し、その心をもとにして、だれに対しても思いやりの心をもって行動しようとする。	1 親切な人を想起し、その人が親切な行動ができる理由を考える。 2 「藤井駅のホームのできごと」を読んで、困っている相手を見ると放っておけない心について考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○朝の会・帰りの会 ・困っている人を放っておかず助けている子どもの話題や、そのような内容に関する新聞記事を紹介する。 ○道徳の授業 ・「藤井駅のホームのできごと」を読んで、「わたし」やお母さんの行為から見える、困っている相手を見ると放っておけない心について考えさせる。 ○学級活動 ・身近にいる親切な人をもう一度探し、親切だと思った理由を友達どうしで伝え合わせる。
12月	27. 自然を守るエゾリス 【自然のしくみ】 【主】D 自然愛護 【関連】D 感動、畏敬の念	◎動物と植物が共存していることを知り、自然の偉大さに感動することを通して、自然環境を大切にしようとする。 【理解、判断力】 動物と植物が共存共生していることや、自然環境を守ってきたことを理解する。 【心情】 小さな動植物が、広大な自然環境を守っているという自然の仕組みのすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 美しい風景や大自然を生み出している自然の仕組みに畏敬の念をもち、自然環境を大切にしようとする。	1 「生き物どうしの共存共生」について話し合う。 2 「自然を守るエゾリス」を読んで、自然の仕組みについて考える。 3 自然の仕組みを守るためにできることを考える。	○道徳の授業 ・「13 海を耕す人たち」を読んで、自然を大切にすることについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・各自が調べてきた自然環境を守る活動について発表させる。 ・クラスや家庭でもできる「自然環境を守る活動」を話し合わせ、実践化を図る。 ○道徳の授業 ・「自然を守るエゾリス」を読んで、自然の仕組みについて話し合う。 ○総合的な学習の時間 ・自分たちにできる自然環境を守る活動を話し合わせ、行動させる。 ○家庭 ・自然環境を守るために、家庭でできることを家族と話し合い、行動させる。
1月	28. 「また来てね」 【誠実な心で】 【主】A 正直、誠実 【関連】B 親切、思いやり	◎だれに対しても誠実に接し、明るく生きていこうとする。 【理解、判断力】 誠実とは、だれに対しても真心をもって行動しようとすることだと分かる。 【心情】 誠実な人の生き方に共感する。 【実践意欲と態度】 自分も、相手のことを考え、真心をもって誠実な態度で生きていこうとする意欲をもつ。	1 何かに一生懸命取り組んでいる人のことをどう思うか考える。 2 「『また来てね』」を読んで、「誠実な心」について話し合う。 3 人に対してどういう気持ちをもって接することが大切なのか考える。	○日常生活 ・「何かに一生懸命に取り組んでいる人を見つけてみよう」と投げかけ、自分の周りの一生懸命な人を探させておく。 ○道徳の授業 ・「『また来てね』」を読んで、誠実な生き方について考えさせる。 ○学校における日常生活 ・紗季のように行動できている友達を見つけて、よいところをカードに書き、貼り出させる。 ○学級活動 ・係活動や当番活動で、だれも見えていないところでも、全力でものごとに取り組もうとしている友達の姿を見つけ、発表し合う活動を設定する。
1月	29. 心の管理人 【自分の心が見ている】 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】A 節度、節制	◎自由を大切に、自律的に判断して、規律ある行動をとろうとする。 自由というのは、好き勝手によいということではなく、自己管理（規律）が伴うことであることが分かる。 【心情】 自律が伴う自由を大切にしている行動に、よさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の心に規律をつくり、それをもとにした行動をしようとする。	1 自由の概念を出し合う。 2 「心の管理人」を読んで、自由の意味やよさを考える。 3 今日の学習をまとめる。	○道徳の授業 ・「心の管理人」を読んで、自由の意味やよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・これまでの行動や本時での学習を振り返って、自由についての標語をつくり、発表し合う活動を設定する。 ○日常生活 ・自由に行動してよい場面で、場面ごとにどのような考えで行動するのがよいか考えさせる。
2月	30. ふるさと ―六年生を送る会― 【わたしたちの学校】 【主】C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】B 感謝	◎学校を支えている人々の思いを知り、自分たちでよりよい学校をつくろうとする。 【理解、判断力】 学校を支えている人々の思いが分かる。 【心情】 協力して、よりよい学校をつくろうとしている人々の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 よりよい学校をつくるために、自分たちができることを見つけ、役割を自覚して活動しようとする。	1 自分の学校のことについて話し合う。 2 「ふるさと」を読んで、学校を支えている人々の思いを考える。 3 本時の学習を振り返り、どのような学校にしたいかを考える。	○特別活動 ・「六年生を送る会」などの児童会行事の準備を子ども中心に行わせる。 ・学校で伝統的に続けられていることを調べさせる。特に6年生が続いていることに注目させる。 ○道徳の授業 ・「ふるさと―六年生を送る会―」を読んで、学校を支えている人々の思いについて考えさせる。 ○特別活動 ・自分たちが受け継いでいきたいことを、6年生に向けて発表させる。 ・児童会行事などをみんなで協力して準備させる。 ・委員会などの6年生の活動を、その思いと共に受け継ぐ活動を設ける。



月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	31. ミレーとルソー 〔本当の友だち〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 親切, 思いやり	◎本当の友達とは、相手の立場や思いを理解し、互いに信頼し合う関係であることが分かり、自分も周りにいる友達と友情を深めていこうとする。 【理解, 判断力】 深い友情とは、相手の立場や思いを理解し、相手のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かる。 【心情】 相手の立場や思いを理解し、互いに信頼し合う深い友情で結ばれている関係に共感する。 【実践意欲と態度】 そのような関係に憧れをもち、自分も周りにいる友達と友情を深めていこうとする。	1 友達とはどんなものか考える。 2 「ミレーとルソー」を読んで、本当の友情について考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・相手の立場や思いを考えて友達と接するよう促す。 ○道徳の授業 ・「ミレーとルソー」を読んで、相手の立場や思いを理解し、互いに信頼し合う友達関係について考えさせる。 ○読書活動 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語の中から、ミレーとルソーのように、相手の立場や思いを理解し、互いに信頼し合っている友達関係を探して紹介し合わせる。
2月	32. 富士観測所をつくるために 〔目標に向かって〕 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】A 真理の探究	◎より高い目標をもって、自分のもっている力を精一杯発揮して生きることにすばらしさがあり、そのような生き方に心を動かす、自分もそのような生き方をしようとする。 【理解, 判断力】 ものごとを成し遂げるには、強い目的意識をもち、粘り強く実行する力が大切であることが分かる。 【心情】 人々のためになる目標をもち、自分のもっている力を精一杯発揮して生きていくことをすばらしいと感じる。 【実践意欲と態度】 ものごとを成し遂げるために、自分のもっている力を精一杯発揮して生きようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、目標を達成するためにはどんなことが大切かを考え、ノートに書く。 2 「富士観測所をつくるために」を読んで、気になったところに線を引ながら読む。 3 努力することのよさについて考える。 ④P. 142～143の問いかけを読み、野中さんが大変な苦労をしたのにあきらめなかったのはなぜかを考えることを通して、野中さんの成し遂げたことはどんなことなのかを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、野中さんの生き方から、学んだことをノートにまとめる。	○学級活動 ・ものごとを成し遂げるためには、どのようなことが大切か考えさせる。 ○道徳の学習 ・「富士観測所をつくるために」を読んで、努力することのよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・野中さんの生き方に学んだことをもとに、自分の目標にどう生かしていきたいかを発表させる。 ・野中さんと同じように、目標に向かって努力した人について調べさせる。
<b>重点主題：わたしにできること</b>				
2月	33. 明日へ向かって 〔ささえ合う心〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】B 親切, 思いやり	◎社会に奉仕する喜びを味わうと共に、公共のために役立つことをしていこうとする。 【理解, 判断力】 相手のことを考え、思いを込めてボランティアを行うことの大切さが分かる。 【心情】 社会の役に立つために自分にできることを見つけて、自主的に活動する姿にすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 社会の役に立つために自分にできることを考え、実行しようとする。	1 東日本大震災について押さえる。 2 「明日へ向かって」を読んで、ボランティアの重要性について話し合う。 3 今日の学習から考えたことを、まとめる。	○日常生活 ・東日本大震災の被害とボランティア、復興の状況などを調べさせる。 ○道徳の授業 ・「明日へ向かって」を読んで、ボランティアの重要性を話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・災害やボランティアの実態について調べ学習を行い、感じたことをまとめさせる。 ○学級活動 ・自分たちの住む地域で、自分たちにどのようなボランティアができるかを考え、発表し合わせる。
3月	34. ちひろの思い 〔わたしにできること〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】B 親切, 思いやり	◎社会に奉仕する喜びを味わうと共に、公共のために役立つことをしていこうとする。 【理解, 判断力】 ボランティアで社会を支えることの喜びが分かる。 【心情】 ボランティアの根底にある、人や社会の役に立とうとする心に共感する。 【実践意欲と態度】 社会の役に立つために自分にできることを見つけ、実際に行動しようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、自分たちがしたことのあるボランティアについて振り返り、ノートに書く。 2 「ちひろの思い」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 ボランティアの喜びについて考える。 ④P. 153～155の問いかけを読み、ちひろさんがどんな思いから座布団を作ろうと思ったのかを考え、そのよさについて考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、自分にはどのようなボランティアができるかを考え、ノートにまとめる。	○総合的な学習の時間 ・災害やボランティアの実態について調べ学習を行い、感じたことをまとめさせる。 ○道徳の学習 ・「ちひろの思い」を読んで、ボランティアの喜びについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自分にできるボランティアを見つけて実践し、思ったことや感じたことを紹介し合わせる。
3月	35. マララ・ユスフザイ ― 一人の少女が世界を変える― 〔強い思いをもって、よりよく生きる〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】C 公正, 公平, 社会正義	◎よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じ、自分にとってのよりよい生き方を見つけようとする。 【理解, 判断力】 平和を願い、正義を貫き通そうとする人の強さや気高さを理解する。 【心情】 そのような人の生き方のすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 強く気高い生き方から、少しでも自分につながることを探して、自分にとってよりよい生き方を見つけようとする。	1 「よりよく生きる」とは、どのようなことか考える。 2 「マララ・ユスフザイ」を読んで、よりよい生き方について考える。 3 マララの生き方から学んだことをまとめる。	○家庭学習など ・インターネットや本で、マララのことについて調べさせる。 ・偉人伝などを読んで、感想文などを書き、偉人たちの生き方について考えさせる。 ○道徳の授業 ・「マララ・ユスフザイ ― 一人の少女が世界を変える―」を読んで、よりよい生き方について考えさせる。 ○家庭学習, 日常生活など ・マララの本や「マララ・デー」、ノーベル平和賞受賞のスピーチなどを紹介し、もう一度マララの生き方について考えさせる。 ・マララのように、強い思いをもって行動している人を探して、感想を発表させる。 ○特別活動 ・5年生の1年間を振り返らせ、道徳の授業で学んだことも含めて、6年生になるにあたっての作文を書かせる。
付録	36. うばわれた自由 〔本当の自由とは〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 節度, 節制	◎「自由」と「わがまま」の違いを意識し、規律ある行動をとろうとする。 【理解, 判断力】 「自由」と「わがまま」の違いが、「自律」の観点から判断できる。 【心情】 「本当の自由」を大切にするために行動している人の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 「わがまま」に行動してしまう人間の弱さを踏まえ、「本当の自由」を大切にしていこうという意欲をもつ。	1 「自由」と「わがまま」の違いを話し合う。 2 「うばわれた自由」を読んで、「本当の自由」について話し合う。 3 自分たちにとっての「本当の自由」を考える。	○学級活動 ・自分の心をコントロールできると、どんなよさがあるか考えさせる。 ○道徳の授業 ・「うばわれた自由」を読んで、「本当の自由」について考えさせる。 ○学級活動・家庭 ・「本当の自由」を大切にするにはどうすればよいか話し合い、実行するよう促す。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	37. 手品師 〔誠実に生きる〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】B 親切, 思いやり	◎他人にも, 自分自身に対しても, 誠実に明るく生きていこうとする。 【理解, 判断力】 誠実さとは, 自分の良心に従い, 真心をもって行動しようとする態度であることが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方に共感する。 【実践意欲と態度】 誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ, 同じような心が自分にもあることが分かり, それを高めていこうとする。	1 本気で悩んだ場面を想起し, 課題をもつ。 2 「手品師」を読んで, 誠実に生きる意味について考える。 3 手品師の生き方と自分の生き方を重ねて考える。	○道徳の授業 ・「手品師」を読んで, 誠実に生きる意味について考えさせる。 ○調べ学習 ・「誠実に生きる」とはどういうことか考え, 本や身の回りで誠実に生きている人を探させる。 (1週間程度) ○学級活動 ・考えたり調べたりしたことを, 話し合い, 深め合う活動を設ける。
付録	38. パスと赤ちゃん 〔思いやりの心〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】B 相互理解, 寛容	◎思いやりの心について理解し, だれに対しても思いやりをもって, 相手の立場に立って行動していこうとする。 【理解, 判断力】 相手の思いを察し, 相手の立場に立って考えた行動が, 人に感動を与えることが分かる。 【心情】 相手の思いを察し, 相手の立場に立って行動できている人の心や行動によさを感じる。 【実践意欲と態度】 相手の様子や立場からその人の思いを察する心は自分にもあることが分かり, その心をもとにして行動しようとする。	1 思いやりがある人はどのような人か考える。 2 「パスと赤ちゃん」を読んで, 相手の思いを察し, 相手の立場に立って考えることについて話し合わせる。 3 本時で学んだことを, 自分の言葉でまとめる。	○道徳の授業 ・「パスと赤ちゃん」を読んで, 相手の思いを察し, 相手の立場に立って考えることについて話し合わせる。 ○学級活動 ・相手の様子や立場からその人の思いを察して行動している人や自分がしてきた思いやりがある行動を思い出し, そのよさを友達と話し合わせる。 ○読書活動 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語, 新聞記事の中から, 温かな心が伝わったり広がったりした例を探して, 紹介し合わせる。
付録	39. ふるさとのほこり 広島カーブ 〔ふるさとのほこり〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】B 感謝	◎わが国や郷土の伝統や文化を守り, 受け継いでいこうとする。 【理解, 判断力】 わが国や郷土の伝統や文化は, 先人の思いや努力によって守られていることが分かる。 【心情】 郷土の誇りとなっているものに対する先人たちの努力や思いに共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の誇りとなるものを見つけ, 自分との関わりを考え, 国や郷土を大切にしようとする。	1 自分たちの地域の「自慢」について考える。 2 「ふるさとのほこり 広島カーブ」を読み, 地域の誇りについて話し合う。 3 自分たちの地域にある大切にしたいものについて, その理由をまとめる。	○道徳の授業 ・「ふるさとのほこり 広島カーブ」で, 伝統と文化を尊重すること, 国や郷土を愛することについて考えさせる。 ○社会科 ・わが国の国土や産業についての学習の中で, わが国や郷土の歴史や発展に貢献した人物などについて考えたり, 調べたりすることを促す。 ○総合的な学習の時間など・地域 ・地域の行事などについて調べたり, その行事を支えたり, 守ったりしている人に話を聞いたりして, 学習してきたことをまとめさせる。 ・身近な地域の行事や活動に参加し, そのことについてまとめ, 発表し合わせる。
付録	40. ホペイロのヤマさん 〔チームのよるこびを自分のよるこびに〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎自分の役割に喜びを見だし, 自分の生き方を考え, よりよく生きようとする。 【理解, 判断力】 自分の役割にやりがいを感じることで, 喜びが生まれることが分かる。 【心情】 全体の喜びを自分の喜びに感じる人の生き方に, すばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の生き方を主体的に考え, よりよく生きようとする。	1 ホペイロという仕事について知る。 2 「ホペイロのヤマさん」を読んで, 生きる喜びについて話し合う。 3 みんなの喜びを自分の喜びと感じた経験があることを思い起こす。	○道徳の授業 ・「ホペイロのヤマさん」を読んで, 他者の喜びを自分のことのように喜び心をもって生きていくことについて考えさせる。 ○係や委員会活動など ・みんなのためになることを見つけて, 積極的に実行するよう促す。 ○朝の会 ・一定の期間を置いた後, 感じた喜びについて, 互いに紹介させる。